

みさと社協だより

こころ

2015.3

第53号

発行 / 社会福祉法人
美郷町社会福祉協議会
TEL 75-1345(代表)
FAX75-1439

印刷 / (有)つきはし印刷

滝原すずめ会



赤い羽根
共同募金

赤い羽根共同募金 地域福祉活動推進 助成事業

皆様から寄せられた温かい共同募金を基に
地域の様々な活動へ助成しました。

ときわ会
竹細工教室
26年7月28日



ときわ会

青吾会



美郷町共同募金委員会助成事業
平成26年度 小中学校児童生徒

福祉作文

美郷町内小中学校では、福祉活動の推進に取り組んでおられます。

町社会福祉協議会では、事業の一環として福祉作文の募集をしました。色々な体験を通しての素直な作品の応募を沢山いただきました。

審査の結果、次の方々が入賞されました。その中で最優秀の作品を紹介いたします。

賞	学校名	学年	氏名
●小学校低学年の部			
最優秀賞	大和小	1	田邊優治
優秀賞	邑智小	1	西原唯信
佳作	大和小	2	石川音羽
佳作	邑智小	2	漆谷海都
佳作	邑智小	1	沖田琴美
佳作	邑智小	2	直井香万智
●小学校中学年の部			
最優秀賞	大和小	3	大畑朱音
優秀賞	邑智小	4	林優莉
佳作	大和小	4	浅原美彩
佳作	邑智小	4	置名咲良
佳作	邑智小	3	寺本いな
佳作	邑智小	3	西谷香子
●小学校高学年の部			
最優秀賞	大和小	5	中村のえる
優秀賞	大和小	6	大畑未夢
佳作	邑智小	6	河本未夢
佳作	邑智小	5	杉谷美羽
佳作	邑智小	5	竹下真太朗
佳作	邑智小	6	縄江碧飛

賞	学校名	学年	氏名
●中学校1年生の部			
最優秀賞	邑智中	1	下原結葉
優秀賞	大和中	1	高橋樹生
佳作	大和中	1	金森由恕
●中学校2年生の部			
最優秀賞	邑智中	2	門田彩花
優秀賞	大和中	2	漆谷智恵
佳作	邑智中	2	神崎莉奈
佳作	大和中	2	中原みなみ
佳作	邑智中	2	満尾美月
佳作	邑智中	2	森田鈴香
●中学校3年生の部			
最優秀賞	邑智中	3	木村華
優秀賞	大和中	3	藤田遥
佳作	邑智中	3	菅原いおり
佳作	邑智中	3	野川美幸
佳作	邑智中	3	湯浅ひかる
佳作	大和中	3	和田望来



小学校低学年の部・最優秀賞

かぞくのためにできること

大和小学校 1年 田邊優治

ぼくのいえは、五人かぞくです。おばあちゃんはいえですすばんをしています。おとうさんとおかあさんは、おつとめをしています。

おにいちゃんとは、けんかもよくするし、「まさはる、あれもってきてや。」とめいれいされることもおおいけれど、がっこうのことは、いろいろおしえてくれます。うんどうかいで一ばんだったときは、すごくほめてくれたので、うれしかったです。

おばあちゃんには、一がっきにバスにのりおくれたとき、車でむかえにきてもらいました。見たいテレビがあったので、たすかったあとおもいました。おばあちゃんは、ほしい本をかってくれたりもします。

おとうさんは、ねるまえに本をよんでくれます。おとうさんのこえは、ひくくて大きいので、やまたのおろちやおばけの本のときは、びっくりします。でも、ほかの

本のときは、きもちよくなって、ねむたくなってきます。

おとうさんは、しごとでつかれているときでも、本をよんでくれて、やさしいなおもいます。

ぼくは、かぞくにたすけてもらっているから、ぼくもかぞくのためにできることをしようとおもいます。

ぼくのいえは、おこめをつくっています。おじいちゃんがなくなってから、おとうさんがかわりにがんばっています。でも、田んぼがいっぱいあるので、一人では大へんです。ことは、田んぼのへりのいねをぼくがかまでかりました。あせがいっぱい出て、手も足もいたくなりました。でも、おとうさんに、「たすかったわあ。」といってもらって、うれしかったので、どんどんお手つだいがしたくなりました。

かぞくのためにできること。ほかにもたくさんあるとおもうので、じぶんからすすんでやっていきたいとおもいます。



小学校中学年の部・最優秀賞

長生きしてくれてありがとう

大和小学校 3年 大畑 朱音

「ばあちゃん、ひさしぶり。朱音だよ。」ベットでねているひいばあちゃんに、声をかけました。少し苦しうでした。ひいばあちゃんの手はつめたかったので、手にぎってあたためようと思いました。その時、ひいばあちゃんの手は、ぴくっと動きました。

「だいじょうぶ。」と聞くと、「うん。」と、こたえてくれました。弟や妹には「う。」と言うだけで、なんのはんのないけれど、わたしが、にぎったり話しかけたりするとはっきりとこたえてくれました。しばらくさすっていたらお母さんが、「朱音のおかげでおばあちゃんの手がとてもあたたかくなったよ。」その通り、ひいばあちゃんの手は、さっきよりずいぶんあたたかくなったように思いました。わたしもうれしくなりました。もうすぐ百才、早く、たんじょう日が来ないかなと思

ました。

十一月二十日ついにひいおばあちゃんの百才のたんじょう日がやってきました。ろう人ホームで百才のお祝いをしてもらいました。ピンクのぼうしにピンクのちゃんちゃんこをきて、とてもうれしうでした。ケーキも全部食べました。

それから二週間。ひいおばあちゃんは、しずかに息をひきとりました。とてもつめたい手。でも、さすったら、ぴくっと動きうでした。知らせを聞いたしんせきの方がいっばい来ていました。みんなにあいされ、わたしたちにとってもやさしかった大すきなひいばあちゃん。大すきなひいばあちゃんのぬくもりは、今でも、わたしの心の中にあります。長生きして、わたしに手のぬくもりをのこしてくれました。ひいばあちゃん。「長生きをしてくれて、ありがとう。」



小学校高学年の部・最優秀賞

フラワーフェスティバルを終えて

大和小学校 5年 中村 のえる

五年生になって初めて、フラワーフェスティバルに参加しました。六年生や中学生、地域の方などいろんな方が参加されると聞き、「初めて会う人たちと仲良くなれるかな。」などと心配でした。六年生や中学生とは、ふだん学校で触れ合うことが多いのですが、地域の方とは会うのが初めてです。何を話せばいいのかと悩みました。

会食のときに、各グループで自己紹介がありました。私は、緊張して上手に言えませんでした。その後、地域からの参加者である野村さんという方が、「上手に言えとったね。」とほめてくださいました。そのとき、私は心がポカポカと温かくなった気がしました。それから、野村さんとはたくさん話をすることができました。

他の地域の方のことも知りたくなって、インタビューの時間にはたくさんの方とふれあい、仲良くなることが

できました。中でも、印象に残ったのは、織田さんの次の言葉でした。

「一生けんめいに花を植えている子どもたちの姿がほこらしかった。みんなの植えた花のおかげで、私たちの笑顔が増えた。」織田さんのその言葉を聞いて、私も笑顔になりました。

私は、地域の方に笑顔を与えるためにフラワーパーク活動をしているのに、反対に地域の方から笑顔と元気をもらいました。仲良くなることに一生けんめいだった私だけど、いろんな方と話をするうちに地域の方の温かさに触れることができました。

私も、これからは地域の皆さんみたいに、人にやさしく接していきたいです。六年生になったら、フラワーパーク活動でもっとたくさんの方たちとふれあい、笑顔と元気の輪を広げていきたいと思



中学校1年生の部・最優秀賞

あいさつについて考えたこと

邑智中学校 1年 下原 結葉

あいさつをして嫌な気持ちになるか、いい気持ちになるか。私は、あいさつをして、いい気持ちになったことの方が多

いです。小学校のときバスで通学していた私は、あいさつをする機会がとても少なかったです。週に一回バス停で安全を見守って下さる青パトの方、学校の入り口に立っておられる校長先生。あいさつをした回数を数えると十回もいきませんでした。あいさつをしたらいいい気持ちになる。あいさつを十回もしてないのにいい気持ちなんだろう

か？ もちろん気持ちは回数の問題ではないけれど、どうしてもいい気持ちの意味がわからなかったです。

小学校を卒業して中学校に入学し、私は歩いて学校に通うようになりました。

バスだったのが歩きに変わり、不安も少しはありました。はじめて学校に行く日、町にたくさんの方が立っておられました。小学校の頃は、気づかなかったこと。そして立っておられる方のほかに地域の方々。たくさんの方々からの、とてもあたたかいあいさつ。「おはようございます」、「いってらっしゃい」帰りには「さようなら」

「おつかれさまです」信号をわたるときには私達の安全を第一に、朝早くから警察の方や青パトの方が見守ってくださいています。おそくなった日も仕事があるのに、私達を待ってくださっている方もいました。地域の方々はとてもあたたかい方達だと思い、すごうれしかったです。私達はその分、笑顔で「おはようございます」、「いってきます」と感謝の気持ちをこめて言っています。そして私が気づいたことは、あいさつはいい気持ちなん

だ。笑顔と勇気をくれる、あたたかい人と人とを結ぶすばらしい言葉なんだということです。小学校のとき、いい気持ちになれなかったのは自分が心をこめてあいさつをしていなかったからだと思いました。その時から私は心をこめて相手の人がいい気持ちになるような、あいさつをしようと決めました。

「おはようございます。」今日も私から、心をこめて笑顔であいさつ。いい一日になりそうです。



中学校2年生の部・最優秀賞

一枚の写真から

私が福祉の仕事に就きたい。そう思ったのは中学一年の冬休みです。父が持って帰った写真を見たのがきっかけです。

ある日、私が部屋にいると介護福祉士の父が一枚の色紙を持って、私に声を掛けました。その内容はご利用者さんの誕生日のお祝い会でプレゼントする色紙に色ペンで絵を描いてほしいというものでした。

小さい頃から、絵を描くことが大好きな私は、すぐそのお願いを引き受けました。そして、出来上がった色紙を見せると、「とてもきれいだね。ありがとう。」と言われて、少し役に立てて良かったなと思いました。

次の日、職場から帰ってきた父が一枚の写真を持って、私の部屋にきました。何だろうとその写真を見ると私の描いた色紙を持ってにっこりと笑っているご利用者さんが写っていました。すると父が、「このご利用者さんは、彩花の描いた色紙を見てとても喜んでたよ。」と言いました。その一言はとても嬉しかったです。私は父からその写真を借りてしばらく見ていました。その時私は「私がしたことは本当にささいなことなのにこんなに

邑智中学校 2年 門田 彩香

相手は喜ばれるんだな。」と思いました。その時に私はもっとご利用者さんを喜ばせたい！と思いました。

私はその日から父に福祉について色々聞いたり、絵に関する仕事は全て引き受けたりと自分のしたいことを積極的にやりとげようとしました。その度に、感謝の言葉をたくさん言われてとても嬉しかったです。

今思えば、父が一枚の写真を持って帰っていなければ、私は福祉のことについて全く興味を持たなかったと思います。

今の私は、言葉を失った人が言葉を取り戻せるように一緒に頑張る、「言語聴覚士」になりたいと思っています。

色々な人を私の手で助けてあげたい。もっと人々の笑顔や幸せを増やしたい。そう思う私を導いたのはあの一枚の写真でした。私はこの出来事があったからこそ、「小さなことでもとても大きなことに繋がる」ということを学びました。

私はこの出来事に感謝して、これから生きていきたいと思っています。



中学校3年生の部・最優秀賞

ありがとう

夏休みに家族で海水浴に行った時のことです。私はトイレの手洗い場の鏡の前で髪を結んでいました。するとトイレから人が出てきました。そこのトイレには一つしか手洗い場がありませんでした。だから私はその人に、「すみません。どうぞ。」と手洗い場をゆずりました。

でもその人は、なにも言わずおどおどしながら手洗い場の前に立ちました。私はお礼ぐらい言えばいいのに、無愛想な人だと思い、少し腹が立ちました。そう思いながらその人を見ていると水を出す方法がわからなくて困っているようでした。蛇口の部分には「押す」と書いてあったのですがその人はひねってみたりと困っていました。私はその人に少し腹を立てていましたが、「押したら水が出ますよ。」と言って、蛇口を押してあげました。するとその人は笑顔で「アリガトウ」と言ってくれました。私はその時はじめて、その人は外国の方だとい

邑智中学校 3年 木村 華

うことに気がきました。

だから、私が手洗い場をゆずった時に何を言われたのか、本当にゆずられたかわからなかったんだと思います。そして、「押す」という字が読めなかったんだと思います。

私はカタコトな「ありがとう」を聞いてとても嬉しくなりました。それと同時に、その人に対して腹を立てた自分を恥ずかしく思いました。

私は、お礼を言われなくて腹を立てる自分はおかしいと思いました。お礼を言ってもらうために人に優しくしているわけではありません。お礼を言われなくてもする、それが大切だと思いました。そして、「ありがとう」という言葉はやっぱりいいなと思いました。言われた側はもちろん、言った側も笑顔になれる言葉だと思いました。

普段の生活では「ありがとう」という言葉はあまり気にならないけど、なくなるとはいけな大切な言葉だと思いました。

福祉作文の審査を終えて

福祉作文コンクールのねらいは、福祉についての理解を深めることにあります。

「福祉」という言葉を広辞苑で調べてみると、『幸福。公的扶助による生活の安定。』と記されています。作文を書くことを通して日頃の生活を振り返り、自分の一日が家族や学校の友達・先生、さらには大勢の地域の方によって支えられていることに気付き、自分のことばかり考えるのではなく、お互いを思いやる気持ちを持つことが大切なのではないでしょうか。

平成26年度の福祉作文コンクールには、小学校から18点、中学校から15点の作品応募がありました。応募された児童・生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

1月30日に福祉作文審査会を開催し、前半に小学校部門の審査を、後半に中学校部門の審査を行いました。審査員から出た感想は次の通りです。

◎小学校部門

- ・子ども達の作品を読み、改めて「笑顔」や「挨拶」の大切さを強く感じた。
- ・学校で地域の方との交流活動や福祉施設などの訪問活動が活発に展開されており、その時の交流場面がしっかりと書かれた作品が多い。
- ・竹細工活動など、隣保館と連携した活動が積極的に行われていることがわかった。
- ・学校教育に取り入れられた体験活動を通して子ども達の福祉への関心が高まり、一人一人の心の成長が感じられた。
- ・小中学校の間に福祉施設を何度も訪れたり、地域の方と年間を通じて野菜や花作りを行うなど、継続した体験活動が大切である。

◎中学校部門

- ・福祉作文では、子ども達の感性が大切。福祉体験を通して何を感じたか、作文を通して何を訴えたのか、その思いが素直に描かれていることが大切。優秀作品には、そういった内容がしっかり書かれている。
- ・学校教育に取り入れられている様々な体験活動を通して、子ども達の福祉への関心が高まっており、将来は福祉関係の仕事に就きたいと考えている生徒が増加している。
- ・小学生を含めて、本年度はレベルの高い作品が多かった。内容も、福祉施設での交流体験、家族とのふれ合い、神楽や地域行事などを通じた地域の方との交流体験、さらには外国人の方との交流など、様々な場面を通して子ども達が感じた事や考えた事が、素直に描かれていた。
- ・作文の得意な生徒がいる。メモを取ったり、体験したことを文章にまとめたりする力は大切である。読書量とも大きく関係しているのではないかと。体験活動だけでなく、読書活動を通して子ども達の感性が育っているのを感じた。

応募された作文は、作品集にすべて収録しています。多くの皆様にお読みいただき、作品集が美郷町の「温かい地域社会づくり」と「福祉の一層の進展」に資することになれば幸いです。

最後になりましたが、ご指導いただきました各校の先生方、また関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(福祉作文審査員一同)



福祉作文審査委員

田 邊 哲 也	美郷町教育長	安 田 兼 子	美郷町連合婦人会会長
窪 田 英 通	美郷町健康福祉課課長	寺 本 賢 司	美郷町内福祉施設関係者
多 田 房 明	美郷町立小中学校校長会代表	磯 竹 洋 邦	美郷町社会福祉協議会事業委員長
松 本 慎 二	美郷町共同募金委員会会長		

美郷町老連 第2回 ペタンク交流会

3月4日、浜原体育館・浜原隣保館で会員64名の24チームでペタンク交流会を開催しました。

3人1組のトリプルスで、4チームずつ、6ブロックに分かれてリーグ戦を行いました。

寒い体育館での試合でしたが、歓声や嘆声・拍手など会場中が終始、にぎやかな中、熱戦が繰り広げられました。

全勝チームが5チームもありました。

閉会式で、「次も、積極的に参加して、笑って話せるように元気で、お互い頑張りましょう」と福島会長の挨拶で、交流会を終了しました。



70歳以上ひとり暮らし者交流会 やすらぎ会

2月4日、今年度第3回やすらぎ会を、ゴールデンユートピアおおちで行いました。当日は立春。会場には温かな陽が入り、窓側は、ぼかぼかを通り越して「暑い」という声が出るくらいでした。

そんな好天に恵まれた中、初めに、粕淵駐在所の永見警部補に、振り込め詐欺やレターパックでの現金送付についてと、夜間の交通事故防止について話していただきました。続いて、たかみ一座ショーで楽しんでいただきました。ほろりときそうな「東京だヨおっ母さん」は、曲の終わりに笑いを入れたり、可愛い娘姿の「アンコ椿は恋の花」、「坂本龍馬よりおりょう」の男まさり過ぎるヒゲの濃いおりょうさんなど、39名の参加者の皆さんは、面白くて楽しいショーに大きな拍手を送っておられました。

美味しいお弁当のあとは、参加者全員で歌ったりカラオケで歌ったりしました。また、今回、初めて餅まきを行い、皆さん楽しんでいただいたようです。

恒例のゲームは、「強かったで賞」「あいこで賞」「弱かったで賞」と景品付きじゃんけんゲームを行い、参加者全員で集合写真を撮って閉会としました。



地域福祉力アップ研修会開催！



生活に困っておられる方を対象とした生活困窮者自立支援法が平成27年4月より施行されます。法施行を前に地域の皆様に、より福祉についての理解を深めていただくことを目的として『地域福祉力アップ研修会』を11月29日・1月24日、両日開催しました。

共同募金運動

多くの皆様から温かいご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

一般募金 2,462,325円

- 戸別募金 1,414,400円
- 街頭募金 120,706円
- 法人募金 535,000円
- 学校募金 21,699円
- 職域募金 86,370円
- イベント募金 215,591円
- その他の募金 68,559円



本年度、皆様から寄せられた共同募金を島根県共同募金会へ送り、27年度、その寄付金の内約8割が助成事業として社会福祉協議会へ助成されます。共同募金助成事業では次のような事業を実施しております。

- 地区社協・地区団体への助成
- 一人暮らし交流会 やすらぎ会
- 福祉作文事業 ● 新生児お祝い事業
- 小中学校入卒お祝い事業
- 学校への福祉教育推進事業 など

歳末募金 898,450円



地域歳末募金につきましては、皆様から寄せられた寄付金を、今年度内に助成を受け、次のような事業を実施いたしました。

町内施設への訪問や町内の75歳以上のひとり暮らしの方のお宅へ、社協役員が蕎麦としめ縄を持って訪問させていただきました。また、小学校就学前の幼児の方を対象に、担当地域の民生児童委員よりクリスマスプレゼントをお届けしました。

お知らせ

お問い合わせは、社協 ☎75-1345までお電話ください。

平成27年度 社協会費等にご協力をお願いします

美郷町社会福祉協議会では、皆様から拠出していただいています会費を貴重な財源として、誰もが安心して暮らせる地域社会の充実・向上を図るため、各種事業を推進しています。新年度も次のとおり、お願いいたしますので、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

【社協会費】	6月実施	【共同募金】	10月実施
・ 一般会費	1,200円	・ 一般募金	800円
・ 賛助会費	3,000円	・ 歳末募金	500円
・ 団体会費	5,000円	【日本赤十字社】	5月実施
・ 特別会費	5,000円	・ 社 費	700円

災害義援金ありがとうございました

- ・長野県南木曾町豪雨災害義援金
- ・長野県神城断層地震義援金
- ・京都府豪雨災害義援金

平成27年 3月31日まで

※美郷町社協（保健福祉センター）にて受付けています。

● 広島県豪雨災害義援金報告 **192,596円**

くらしの法律相談所を開設

平成27年 4月より毎月第2火曜日に司法書士による法律相談所を開設いたします。相談は無料ですが予約制です。くらしの問題・課題を解決に導くための様々な相談に対応いたします。

みんなの広場

「みんなの広場」とは、地域で活動しておられるグループや団体の紹介の場です。

～美郷町連合婦人会～

美郷町連合婦人会では1月14日、まほろば大和で開かれた新年会に訪問しました。

歌や踊りや寸劇にと多彩な出し物に利用者の方々も声をあげて笑い、喜んでいただきました。



困った時は、お電話下さい。

社協事業・介護保険・相談・苦情 … ☎75-1345
夜間・休日 … 080-2890-8683